

1 研究費補助等の実績

No. 2

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
胎仔小腸分離細胞の再構築過程における腸管壁内神経細胞遊走のメカニズム	米川 浩伸	小児外科	千円 500	補 文部科学省 科学研究費 委
ミトコンドリア呼吸鎖異常症の診断と分子病理に関する研究：小児高乳酸血症の病因解明	大竹 明	小児科	千円 1,500	補 文部科学省 科学研究費 委
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	小田嶋 安平	小児科	千円 500	補 厚生労働省 科学研究費 委
自己免疫疾患に関する調査研究	三村 俊英	リウマチ 膠原病科	千円 1,100	補 厚生労働省 科学研究費 委
関節リウマチにおける炎症と動脈硬化	浅沼 ゆう	リウマチ 膠原病科	千円 800	補 文部科学省 科学研究費 委
Th17サブセットが炎症性疾患特に膠原病において果たす役割の解析	佐藤 浩二郎	リウマチ 膠原病科	千円 8,400	補 文部科学省 科学研究費 委
ホモ接合指紋法によるCOPD感受性遺伝子の検索	萩原 弘一	呼吸器内科	千円 4,900	補 文部科学省 科学研究費 委
高齢者呼吸器疾患の発症・制御に関する遺伝子・蛋白系の解明と治療応用	萩原 弘一	呼吸器内科	千円 5,600	補 厚生労働省 科学研究費 委

計 8

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
成人気管支喘息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価方法に関する調査研究	永田 真	呼吸器内科	千円 600	補 環境再生保全 機構 ○委
成人喘息の実解を目指した治療薬の減量・中止に関する研究	永田 真	呼吸器内科	千円 1,500	○補 厚生労働省 科学研究費 委
ガイドライン普及のための対策とそれに伴うQOLの向上に関する研究	永田 真	呼吸器内科	千円 700	○補 厚生労働省 科学研究費 委
妊娠子宮脱落膜NK T細胞が認識する糖・リン脂質抗原の同定	鈴木 元晴	産婦人科	千円 1,500	○補 文部科学省 科学研究費 委
前置癒着胎盤の病態解明と予知について	板倉 敦夫	産婦人科	千円 2,600	○補 文部科学省 科学研究費 委
生殖補助医療の医療技術の標準化、安全性の確保と生殖補助医療により生まれた児の長期予後の検証に関する研究	石原 理	産婦人科	千円 1,500	○補 厚生労働省 科学研究費 委
生殖腺・配偶子保存を中心とした悪性腫瘍患者の妊孕性温存	石原 理	産婦人科	千円 1,500	補 国立成育医療 センター研究所 ○委
幻聴の生理学的研究	岩波 明	神経精神科・ 心療内科	千円 2,200	○補 文部科学省 科学研究費 委

計 8

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
司法精神医療の適正な実施と普及のあり方に関する研究	岩波 明	神経精神科・心療内科	千円 4,000	補 厚生労働省 科学研究費 委
生存率とQOLの向上を目指したがん切除後の形成再建手技の標準化	中塚 貴志	形成外科・美容外科	千円 24,100	補 厚生労働省 科学研究費 委
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	中塚 貴志	形成外科・美容外科	千円 3,500	補 厚生労働省 科学研究費 委
脳血管障害患者におけるインスリン抵抗性の発現機序に関する検討	間嶋 満	リハビリテーション科	千円 1,000	補 文部科学省 科学研究費 委
アトピー性皮膚炎の症状の制御および治療法の普及に関する研究	中村 晃一郎	皮膚科	千円 2,700	補 厚生労働省 科学研究費 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	倉持 朗	皮膚科	千円 1,000	補 厚生労働省 科学研究費 委
骨・軟骨系におけるNO合成酵素とサーカディアンリズム関連遺伝子の作用解明	安部 貴大	歯科・口腔外科	千円 700	補 文部科学省 科学研究費 委
自律神経制御の観点に立った骨リモデリングにおける生物時計の関わり解明	佐藤 毅	歯科・口腔外科	千円 1,100	補 文部科学省 科学研究費 委

計 8

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脂肪性腫瘍の発生機構に関する分子遺伝学的解析とその病理診断学的応用	廣瀬 隆則	病理学	千円 1,170	補 文部科学省 科学研究費 委

計 1
合計 33

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leuk Res 31;707-711, 2007	t(8;14)(q24;q32) in two patients with CD10-negative primary thyroid diffuse large B-cell lymphoma.	別所正美	血液内科
Leuk Res 32;173-175, 2008	Successful radiotherapy in a patient with primary rectal mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma without the API2-MALT1 fusion gene: A case report and review of the literature.	別所正美	血液内科
Ann Oncol 18;1208, 2007	Clinicopathologic correlations of stage IE/II E primary thyroid diffuse large B-cell lymphoma	別所正美	血液内科
Int J Hematol 92;1021-1028, 2007	Long-term outcome of patients with acquired primary idiopathic pure red cell aplasia receiving cyclosporine A. A nationwide cohort study in Japan for the PRCA Collaborative Study Group.	別所正美	血液内科
Hematology 86;238-245, 2007	A Novel Gene, ANKRD28 on 3p25, Is Fused With NUP98 on 11p15 in a Cryptic 3-Way Translocation of t(3;5;11)(p25;q35;p15) in an Adult Patient with Myelodysplastic Syndrome/Acute Myelogenous Leukemia	別所正美	血液内科
Cancer Genet Cytogenet 182;144-149, 2008	The GAA5 (growth arrest-specific transcript 5) gene fuses to BCL6 as a result of t(1;3)(q25;127) in a patient with B-cell lymphoma	中村裕一	血液内科
Intervirology 50;181-189, 2007	Full-Length Sequences of Two Hepatitis E virus isolates Representing an Eastern China-Indigenous Subgroup of Genotype 4	小池雅美	消化器内科 ・肝臓内科
Virology 365;285-291, 2007	Influences on hepatitis B virus replication by a naturally occurring mutation in the core gene.	持田智	消化器内科 ・肝臓内科

計 8

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。
- 3 雑誌名には、Vol、頁、発表年を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本門脈圧亢進症学会 雑誌 13;99-102, 2007	下横隔静脈の発達した胃静脈瘤に対して Dual Balloon-Occluded Retrograde Transvenous Obliteration (dual B-RTO) を施行した2例	菅原 通子	消化器内科 ・肝臓内科
日本内科学会雑誌 97;43-49, 2008	劇症化：そのメカニズムと治療の実際 ウイルス性慢性肝炎：診断と治療の進歩	名越 澄子	消化器内科 ・肝臓内科
Hepatol Res. 37:701-710, 2007	Double filtration plasmapheresis and interferon combination therapy for chronic hepatitis C patients with genotype 1 and high viral load.	持田 智	消化器内科 ・肝臓内科
J Clin Endocrinol Metab 92;1791-1795, 2007	Insulin Gene/IDDM2 locus in Japanese Type 1 Diabetes: Contribution of Class I Alleles and Influence of Class I Subdivision in Susceptibility to Type 1 Diabetes.	栗田 卓也	内分泌内科 ・糖尿病内科
J Clin Endocrinol Metab 92;3162-3170, 2007	Cytotoxic T-lymphocyte associated antigen 4 gene polymorphisms and autoimmune thyroid disease: a meta-analysis	栗田 卓也	内分泌内科 ・糖尿病内科
Biochem Biophys Res Commun 361;421-426, 2007	Promoter polymorphisms of the pigment epithelium-derived factor gene are associated with diabetic retinopathy	栗田 卓也	内分泌内科 ・糖尿病内科
Biochem Biophys Res Commun 365;433-438, 2008	SH3 domain of the phosphatidylinositol 3-kinase regulatory subunit is responsible for the formation of a sequestration complex with insulin receptor substrate-1.	池上 裕二	内分泌内科 ・糖尿病内科
PPAR Res 2007; Article ID 36092 (5pages), 2007	Activating effect of benzbromarone, a uricosuric drug, on peroxisome proliferator-activated receptors alpha	井上 郁夫	内分泌内科 ・糖尿病内科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 292;G1439-1449, 2007	Disruption of the murine intestinal alkaline phosphatase gene (Akp3) impairs lipid transcytosis and induces visceral fat accumulation and hepatic steatosis	井上 郁夫	内分泌内科 ・糖尿病内科
Diabetes Care 30;1577-1578, 2007	Prevention of Transition From Incipient to Overt Nephropathy With Telmisartan in Patients With Type 2 Diabetes	片山 茂裕	内分泌内科 ・糖尿病内科

計 10

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

3 雑誌名には、Vol、頁、発表年を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hypertens Res 30;529-533, 2007	Is Renoprotection by Angiotensin Receptor Blocker Dependent on Blood Pressure? : The Saitama Medical School, Albuminuria Reduction in Diabetics with Valsartan (STAR) Study	片山茂裕	内分泌内科 ・糖尿病内科
脳卒中 29;451-456, 2007	慢性透析患者に発症した急性期脳梗塞の臨床的検討	加藤裕司	神経内科 ・脳卒中内科
薬局 58;2265-2270, 2007	トリプタン製剤を知る 片頭痛の適切な治療による医療経済効果とトリプタン製剤の役割について教えてください。	加藤裕司	神経内科 ・脳卒中内科
Intern Med 46;462-472, 2007	Multi-center control trial of Etizolam plus NSAID combination for tension-type headache.	荒木信夫	神経内科 ・脳卒中内科
脳卒中 29;457-462, 2007	左心補助人工心臓装着後に脳梗塞を合併した4症例の検討	伊藤康男	神経内科 ・脳卒中内科
臨床神経学 47;601-604, 2007	遺残原始三叉神経動脈閉塞により両側大脳脚梗塞をきたしlocked-in syndromeを呈した1例	加藤裕司	神経内科 ・脳卒中内科
自律神経 44;379-382, 2007	顔面部自律神経機能へ及ぼす鍼通電刺激の影響	荒木信夫	神経内科 ・脳卒中内科
動脈硬化予防 6;110-111, 2007	脳血管障害患者におけるL型/N型Caチャンネルブロッカー(シルニジピン)の降圧作用に関する検討	荒木信夫	神経内科 ・脳卒中内科
Clin Nucl Med 33;34-35, 2008	Effect of nilvadipine on regional cerebral blood flow in a patient with early Alzheimer Disease.	荒木信夫	神経内科 ・脳卒中内科
臨床脳波 49;536-541, 2007	筋萎縮性側索硬化症と鑑別を必要とした糖尿病に起因する神経周膜炎の1例	小森哲夫	神経内科 ・脳卒中内科

計 10

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。
3 雑誌名には、Vol、頁、発表年を記入すること。